

2022年10月事業部会「定例会議(林の日)」議事録(案)

2022.10.17 作成

日 時：10月13日(木) 17:45~19:30

場 所：世田谷区宮坂区民センター 3階 中会議室

出席者：19名(以下敬称略)

長谷川守、脇本和幸、古谷一祐、三井大造、横井行男、小川里花、榎田幹夫、瀬川真治、丸山正、飯島雅巳、浅井記子、宮入芳雄、藤岡眞、石川雄一、氏家清高、早川一二、久保雅春、篠原直樹、熊木秀幸

欠席者(事前連絡)：丹野修、枝澤修、飯塚義則、白井治子、芝原久、鍛冶健二郎

議事進行：脇本和幸 書記：浅井記子

議 題

(以下敬称略)

(1) 全体(確認・連絡・報告事項)

1. 10/20 FIT運営委員会(森の日)への案件 (長谷川)

- ・ 山の日制定記念まるごと GC 作戦の来年度以降の対応について。

2023年以降は通常の GC 作戦の一つとして1つのコースで第1土曜日に実施する形に戻す。その理由は①山の日制定から7年が経過し国民に定着してきた、②70名を超える参加者を複数のコースで案内することはスタッフの負担が大きい、③スタッフを分散して案内することは、季節柄熱中症や事故対応に対するリスクが大きい、の3点。対応に当たっては、特別企画「山の日」高尾山 GC 作戦が高尾森林ふれあいセンター、599ミュージアム等と協議・協力の上で実施しているため事業部会だけでは判断できない。開始当初の背景と経緯や事情をご存じの方々に出席していただき話し合う必要がある。運営委員会での検討後、FITの見解として高尾森林ふれあいセンターに伝え2023年以降の対応を検討する予定。以上の内容でFIT運営委員会に要望書を提出している。

- ・ 小金井市の「森林ESDプログラム」について

全国会事務局の田川さんより小金井市の宿泊施設がある清里で小学生の移動教室における森林ESDプログラムをFITに担当してほしいとの依頼があった。FITへの依頼理由は木を切る団体は他にもあるが森林インストラクター試験に合格しているからとのこと。外部案件で受けることは無理なので森の日で検討。田川さん出席の予定。

意見：小金井市は児童の間伐体験を希望しているが⇒間伐した木の活用や動物・生物の森林調査も含まれている。森林教育から子どもにSDGsについて考えさせる。

その他：①学校法人ニューライフ学園(横浜)から先生のSDGsの研修依頼⇒事業部会で検討後、森の日へ。

②GC関連でフジテレビより写真掲載の依頼があった。

2. 事業部会HP及びMLの現況(参加人数など)(代読：脇本) (飯塚)

登録者の数に変更は無し。メールアドレスの変更一件。HPへの掲載については、ふれあい推進事業に関する案内は11月19日実施「晩秋の高尾山色づいた木々やムササビの飛翔を観察するハイキング」まで掲載、報告については「大垂水峠から♪秋の花を探そう*爽やかハイキング」は雨天により中止だったが、小下沢の溪流のジャブジャブ歩きまで掲載済み。GCについても榎田さんにより同様に掲載済み。外部案件、内部活動ともに最新の状態。HPへのアクセスの状況について8月-9月は閲覧者数548、閲覧ページ数1683、Mobile比率42%、9月-10月は閲覧者数505、閲覧ページ数1811、Mobile比率40%

質問：ページごと(例えば「ちらし」)のアクセス数は出ているのか。⇒手元の資料では不明(HP担当飯島)。HP担当の二人(飯塚・飯島)で相談します。

GCはページごとにカウンターを設置している。但し同じ人のアクセスでもプラス1となる。(GC担当)

3. FIT備品(森林センター倉庫内)について (脇本)

9/22多くの方のご協力をいただき森林センター内のFIT備品庫の整理を実施、要・不要の仕分けを行った。使用期限切れ、汚れのあるもの、壊れているものなど37アイテムを処分、一部を当日の作業に参加していただいた方の中で希望される方に引き取っていただいた。さらに残ったいくつかの不用品についてはFITメールにて引き取り希望を募る。一定期間を置いて引き取り手がなければ廃棄する。今回の仕分けにより備品保管の場所を変えた物があるが、後日備品リストを作成予定。

質問：仕分け前に救急箱に入っていた虫刺され用の軟膏がないようだが⇒現在入っている対応

品を使い切った後か使用期限が来た場合に購入する。

(2) 各担当の報告等について

1. 森林ふれあい推進事業

- 1) 体験参加者の応募状況について ➡ 希望者無し。 (脇本)
- 2) 2023 年度・「高尾森林ふれあい推進事業」の企画募集の件 (長谷川)
募集期間：10/20～11/20 事前検討会：12/9 (金) 企画者会議：2023 年 1 月 15 日 (日)
後日、FIT ML にて企画案募集の案内を予定。
主幹事の継続については、3 回を目途とする (中止の場合は回数に含めない)。2 回以上担当
している人は 40%、できるだけ多くの人に担当してほしい。

(実績)

- 1) 大垂水峠から 秋の花を探そう 爽やかハイキング 2022. 9. 20 (久保)
一般参加者とインターン併せて 44 名を予定していたが、台風 14 号の襲来があり安全面への
配慮から中止となった。前日午前の天気予報で実施を決定したが、午後に予報が変わり中止
が決まった。参加者全員に電話で連絡。前日は祝日のため高尾森林ふれあいセンターに中止
の連絡を伝えることができなかった。翌日、長谷川事業部会部長が森林ふれあいセンターに
赴き中止までのいきさつを説明、ご了解をいただいた。12 時に実施の判断をしたのは適切で
はなかった。
高尾森林ふれあいセンターに連絡するため可能であれば個人のメールアドレスが分かればと
考える。このイベントは昨年も中止だった。予備日の設定ができるといいのだが。
➡森林ふれあい推進事業では予備日設定をしない事になっている。

(予定)

- 1) 高尾山の隠れた魅力、林道歩きを楽しむ！ 2022. 10. 14 (古谷)
初めての企画イベント、37 名応募、全員当選とした。現時点でキャンセル 7 人
- 2) 高尾山 秋の親子自然観察会 2022. 10. 23 (早川)
10/7 募集締め切り、13 組 37 名応募 (リピーター 5 組、すみだまつり・こどもまつりで配布の
チラシを見て 2 組、アサココ 1 組を含む)、全員当選とした。10/2 下下見、10/9 下見と入江
さんによる安全研修、10/16 リハーサル (宮入会長・長谷川事業部会長参加予定)、10/23 本
番。朝日と読売に掲載依頼。
- 3) 高尾山の寺社林を歩いて四国遍路を体感～八十八大師・空海像巡り～ 2022. 11. 8 (横井)
現在応募 12 名、5 社に掲載依頼、2 社から断りの連絡有り、アサココ・読売は 10/20 頃掲載
予定、サンケイは未定。リピーターに案内の連絡をしたい➡脇本さんから提供
- 4) 晩秋の高尾山 色づいた木々やムササビの飛翔を観察するハイキング 2022. 11. 19 (鍛冶)
10/16 下下見、11/12 下見、11/19 本番、班長 5 人、アシスト 2 人、森林ふれあいセンターと FIT
HP にチラシ掲載済み、新聞社 6 社に掲載依頼。10/21 掲載予定、現在応募 11 名 (代読 脇本)
- 5) 奥高尾 初冬の眺望を楽しむハイキング 2022. 11. 30 (石川)
FIT HP に掲載依頼済み、スタッフは 4 名決定、残り 2 名を予定。現在応募 4 名。
- 6) もう一つの高尾・南高尾山稜を訪ねる 2022. 12. 8 (篠原)
599 ミュージアム・高尾山口駅の案内所・南浅川市民センターにチラシを置いた。森林ふれあ
いセンターHP に掲載済み、定年時代など 5 社に掲載依頼 (9/25)、現在応募 3 名 (メール)。
- 7) 氷の華「シモバシラ」と富士山の展望を楽しむハイキング 2023. 1. 6 (熊木)
場所 (コース) と進め方は前回と同じ。副幹事は鍛冶さん、30 名を予定。
前回は前日が大雪のため 10 名のキャンセル発生、実施。参加者から実施か中止か、連絡がほ
しいとの声があった➡お客さんが迷うような場合は連絡した方が良い。
チラシの確認➡連絡先はフルネームで書く。作成日の修正をする。
質問：主幹事が 4,000 円受け取る件について、現状を教えてください。幹事としてはやりにく
いように感じる、終了後の振返りへの提供には違和感を感じる➡主幹事の裁量に任せる。個
人的な経験では 4,000 円受け取ることに異議を唱える人はいなかった (脇本)。本音と建て前
がある。(瀬川)。悩みどころであるが参加者数が少ないと、受け取るのは切ない。主幹事の裁
量でということ (丸山)。今年 1 年やってみて検証する (長谷川)。

2. 田園調布学園土曜講座 (小川)

- (実績) 9/10 (土) 植物の香りとその歴史 主幹事：臼井
参加者数 18 名 (中学生 12 名・高校生 6 名)、香りやハーブ、スパイスの効能を学んだ、
家に持ち帰ったポマンダーが家族に喜ばれたとの感想をいただいた。
- (予定) 10/15 (土) 草木染の毛糸でミサンガ作り 主幹事：福田

11/5 (土) 初めての草木染めに挑戦

主幹事：高須賀

3. クラフト等イベント担当 (丸山・枝澤)

・10/1 (土)、10/2 (日) すみだまつり・こどもまつり 会場：錦糸公園・墨田区総合体育館
イベントが少なくなった昨今、天気に恵まれて参加親子は約3,000人、2~4歳児が多く年齢層が低かった。通路が狭くてベビーカーが通りづらく交通整理が難しかった。クラフト制作をしながら子どもたちに話しかけるようにしたとの振り返りがあった。

開催時間9:30~16:00、日曜日の方が1割ほど参加者が多かった。

10/1日(土) 計685人(重複体験を含む) 10/2日(日) 計755人(重複体験を含む)

ブンブンコマ 361 エンピチブローチ 255 ヒノキ実ブローチ 287 ケムンパ 168

トチの実ストラップ 181 押し葉のしおり 90 デンデン太鼓 98 合計1,440人に提供

交通費はFIT(活動支援金)から150,000円(@3,000円、延べ50人)支給

3000円/人 x 47(当日スタッフ)人=141,000円、残金9,000円はFITへ返金

事業部会からクラフト材料準備担当者へ3,000円 x 7人=21,000円、消耗品購入品(ビーズ・ワイヤーなど)5,074円支出

出店と協力者の願いを複数回行っており、負担が大きいと感じた。

・11/19(土)、11/20(日) いちょう祭り(八王子市)は不参加の方向。

4. 高尾山GC作戦(槇田)

・実績：10月1日(土) 第137回 稲荷山コース 集合：森林センター 8時30分

参加者数34名(FIT会員4名、一般30名)可燃ごみ45L袋で1袋、不燃ごみ20L袋1袋

・予定：11月5日(土) 第138回 日影沢コース 集合：高尾駅北口 8時40分

5. 低山はいかい(瀬川)

・実績：9月28日(水) 水の恵みを訪ねて~大地沢・境川源流と龍の伝説の里を巡る

主幹事：丹野、参加者16名、相模原駅西口9:30集合、歩行約9km・約4時間、標高差約200m、最高峰草戸山(364m)、主幹事は下見を重ねて距離とゴールの時間調整を行った。「今日訪れる境川源流の温度は？」のクイズが用意されていた。特筆すべきは普段高尾山から城山を見るが今回、下に城山湖、上に高尾山の杉並木を見ることができた。好評だった。

質問：募集メールから申し込み締め切りまでが早かったように感じた➡定員を前回の8月に習って16名を踏襲したからです。

・予定：10月30日(日) 特別企画 昭和記念公園で"日本庭園の魅力"と"その周辺の歴史"

幹事：横井及びFIT29年福寿会の幹事団計6名 参加募集 30名

西武拝島線西武立川改札口前広場9:00集合、玉川上水-昭和記念公園日本庭園-砂川口ゲート、2020年新年観察会が中止になり、今回低山はいかいで実施、3班編成、現在17名希望

6. 外部案件(横井) 別紙参照

(実績)・9月26日(月) 八王子市立七国小学校(162名) 高尾移動教室 主幹事：吉原
当日スタッフ1名が欠席となり主幹事が班長を兼務した。

・9月27日(火) 八王子市立第三小学校(108名) 高尾移動教室 主幹事：長谷川

・10月7日(金) 八王子市立片倉台小学校(46名) 高尾移動教室 主幹事：浅井
雨天の中、学校側の希望により登山を実施、1号路から薬王院本堂を目指したがその後雨脚が強まり仁王門で引き返しケーブルカーで下山、無事予定の時間に599ミュージアムに戻った。午後はわくわくビレッジで雨プロを実施して終了。

(予定)・10月26日(水) 調布市体育協会 秋の健康リフレッシュハイク 主幹事：福田

7. 会計報告(古谷) 別紙参照

入金：運営協力金 2件 13,000円 (移動教室・高尾山登山)

七国小学校 8,000円(スタッフ16人)、第三小学校高 5,000円(スタッフ10人)

支出：すみだまつり・こどもまつり準備担当者謝礼・消耗品 26,074円

中止補填金(ふれあい：大垂水峠から♪~爽やかハイキング) 3,000円

(2) その他

・すみだまつりで使用したラミネーターが不調だったので新たに購入を希望、材料のビーズ在庫が少なくなったので補充を希望(丸山) ➡購入して代金を請求してください(長谷川)

・名簿を更新しました。10/20 森の日の資料に目を通しておいてください(藤岡)

以上